



医療法人徳洲会

札幌東徳洲会病院 広報誌

PUBLIC
RELATIONS
MAGAZINE

すこやか

SAPPORO HIGASHI TOKUSHUKAI HOSPITAL

Vol.221

2021年秋号 11 ▶ 1

INDEX

広報室コラム

1. 11月1日は「いい医療の日」
2. オンラインでの依頼講座を初開催!
3. 訪問看護ステーションからのお便り

医療TOPICS

1. つなげる地域の輪 - 医療法人社団 眞明会 今 医院 -
2. 看護師(ナース)のお仕事 / 3. 国際医療支援室発 - わ〜るど通信 -

Focus

物忘れ外来のご紹介

健康運動

毎日の生活を見直そう! ~健康維持につながる40分~

健康レシピ

きのこの和風キーマカレー

当院の基本理念

- 生命を安心して預けられる病院
- 健康と生活を守る病院

当院の基本方針

- 「年中無休・24時間オープン」で、救急医療を提供します。
- 病気の治療だけでなく、健康増進と病気予防を推進します。
- 安全管理の徹底に努め、安心できる医療の提供を目指します。
- 医療技術・診療態度の向上に絶えず努力します。



禁煙
NO Smoking

当院は健康増進法第25条に基づき、
「館内・敷地内全面禁煙」です。ご協力をお願いいたします。

www.higashi-tokushukai.or.jp

TAKE
FREE

ご自由にお持ち
ください

～ご自身やご家族の健康について考える7つのこと～

「いい医療の日」はより良い医療のあり方について、国民と医師が共に考えながら、更なる国民医療の向上に寄与していくことを目的に、日本医師会の設立記念日である11月1日を語呂合わせにより2017年に制定されました。この日を機会に、次の事柄について考えてみませんか。

1 予防接種を受けましょう

お子さんの予防接種の時期を忘れていませんか？予防接種は、重篤な病にかからないための防衛手段であり、感染拡大防止にもつながります。乳幼児健診などの機会にかかりつけ医に相談する等、接種時期を確認し、計画を立ててみましょう。



2 健診・検診を受けましょう

お知らせが届いているのに、健康診断（検診）を受診されていないようなことはありませんか？健康に過ごすために、病気の早期発見が重要です。



3 医療機関を受診してみましょう

忙しさを理由に、検査結果をほったらかしにしているませんか？特定保健指導の対象であったり、再検査が必要との結果が出ている場合は、医療機関を受診してみましょう。



4 生活のスタイルを見直してみましょう

偏った食事、喫煙や過度な飲酒といった不規則な生活を送っていると、生活習慣病等の病気になる可能性が高まります。ぜひ一度、ご自身の生活を振り返ってみましょう。



5 故郷のご家族と連絡をとりましょう

高齢になると、色々な病気になる可能性が高まります。定期的な健康診断の受診や、気になる症状がある場合は医療機関の受診を薦めてみましょう。



6 認知症について考えてみましょう

認知症の中には、早く見つけ治療を始めれば、症状を軽減したり、進行を遅らせることができるものもあります。気になる症状があれば、一度医療機関を受診してみましょう。



7 最期について考える機会を

人生最期の時は必ず誰にでも訪れるものです。どのような最期を迎えたいのか、家族や近い人と話し合ったり、決めたことを文書に残しておくことも大切です。



オンラインでの依頼講座を初開催!



8月5日(木)、北海道開発局さまからのご依頼で、医療公開講座を出張開催いたしました!

今回は、当院の栄養科から講師を派遣。「メタボ、大丈夫ですか?」をテーマに講座を行い、職員研修の一環としてご活用いただきました。開催にあたり、新型コロナウイルス感染のリスクとなる「3密」を回避したオンライン形式を採用され、参加者は各自の机で講座を視聴されました。

対面での講座開催の目途は立っておりませんが、オンラインでの開催など、感染対策を徹底できる場合には、ご依頼いただく講座に対応可能です。ご相談は地域広報室まで。

地域広報室 / TEL 011-722-1168(直通)

医療公開講座の内容やスケジュール、参加方法については当院ホームページ【医療公開講座】内でご案内しております。ぜひご確認ください。

札幌東徳洲会病院 医療公開講座

検索

※ (<https://www.higashi-tokushukai.or.jp/other/chair.html>)

訪問看護ステーションからのお便り



「訪問看護」や「訪問リハビリテーション」をご存知ですか? 看護師や理学療法士・作業療法士がお住まいを訪問し、療養生活を送っている方の看護やリハビリテーションを行うサービスです。自分らしく生きることをサポートします。

当ステーションは令和元年6月1日に開設し、札幌市東区・北区を訪問エリアとして対応しております。看護師や理学療法士・作業療法士の訪問を希望される方、ご自宅での療養に不安を抱えておられる方、ご家族さまはどうぞお気軽にご相談ください。



— 訪問看護ステーションのスタッフたち —

対象の方

< 医療保険でのご利用 >

1. 介護保険の対象外の方
2. 医師が訪問看護、訪問リハビリの必要性を認めた方
3. 40歳未満の方は医師が必要性を認めた方

< 介護保険でのご利用 >

1. 要支援・要介護の認定が必要
2. 65歳以上の方(第1号被保険者)
3. 40歳以上65歳未満の方(第2号被保険者)

< 対象エリア >

札幌市東区・北区

サービスの流れ

- Step 1.** 直接当ステーションへお申込みいただくか、担当ケアマネジャー、もしくはかかりつけの医師(主治医)へお申込みください。
- Step 2.** 主治医から訪問看護指示書が発行されます。
- Step 3.** 訪問看護の内容をご本人さま、ご家族さまと相談の上、サービス内容を決定します。
- Step 4.** 当ステーションと契約を結び、サービスを開始します。

お問い合わせはこちら

医療法人徳洲会
札幌ひがし徳洲会訪問看護ステーション
(事業所番号: 0160290847)

TEL 011-722-1167(直通) FAX 011-795-4110

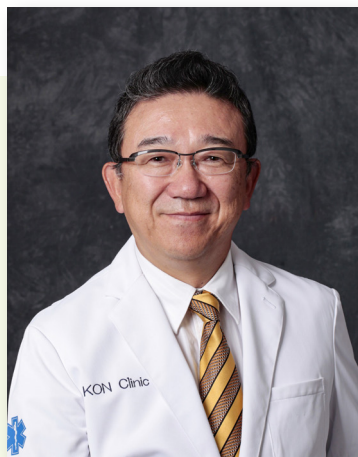
< お問い合わせ受付時間 >

平日 / 9:00~17:00 土曜 / 9:00~12:30



つなげる地域の輪

当院では地域の医療機関および介護・福祉施設と連携し、退院後も適切な医療・福祉サービスを受けられるよう地域との連携構築に取り組んでいます。



札幌市医師会 会長 / 今医院 院長 今 真人

昭和40年開院、札幌市北区で開業しております今医院、院長の今真人(こんまさと)です。高校まで札幌で過ごし1986年獨協医科大学卒業、東京女子医科大学第二外科入局、消化器外科や内視鏡を主体として臨床経験を積んだのちに救命救急センター出向、主に2次、3次救急医療で内因、外因、中毒等の急性疾患を診ることに没頭しておりました。母の他界を機に1998年帰札幌後に父の診療所を有床化し、現在は地域医療に専念しております。医師会活動に関しましては、医家2世ということもあり、帰札幌後ほどなく支部役員を仰せつかり、2003年より札幌医師会理事、2013年より副会長を務めてまいりました。

松家治道前札幌市医師会会長の後継指名を逡巡しながらもお受けし6月より現職、この災害級のコロナ禍で心休まる時がありません。さて、コロナ禍の現在は「正解のわからない問題」に対し「より良い回答」を出していかなければなりません。そしてアフターコロナも視野に入れた会務運営もしていかなければなりません。もとより微力ですが、皆さまのお力をお借りしながら前進してまいります。「求同存異」が座右の銘です。どうぞ宜しくお願いいたします。

医療法人社団
眞明会

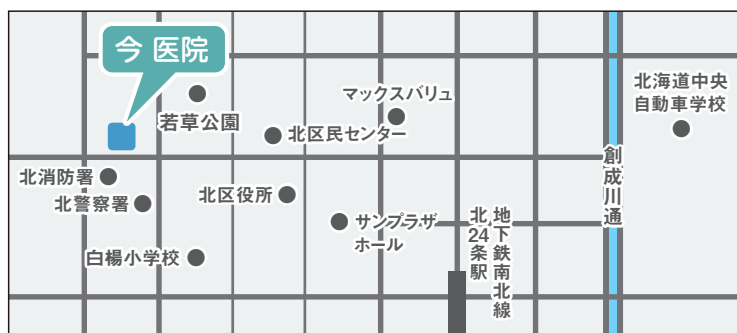
今医院

kon-clinic.com

内科
小児科
消化器科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
09:00~12:00	●	●	休	●	●	●	休
14:00~17:00	●	●	休	●	●	●	休

一般診療時間（受付は終了 30 分前まで）
毎週水曜日・日曜日・祝日は休診です。



〒001-0025 北海道札幌市北区北25条西8丁目2-3
TEL : 011-716-9255

当院は、「安心」をテーマに、患者さまに信頼され、親しみやすい医療機関を目指し外来診療・訪問診療・入院(19床)・リハビリテーションを行う有床診療所です。機能としては、「病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能」「専門医療を担い、病院の役割を補完する機能」「緊急時に対応する機能」「在宅の拠点機能」「終末期医療を担う機能」以上、5つの機能を果たすため、多職種の職員を配置し、居宅介護支援事務所も併設。プロフェッショナルオートノミーに基づき、多角的な視点から患者さま、ご家族を支え、医療と介護の切れ目の無い連携を図り、地域包括ケアシステムの担い手として、有床診療所の機能を果たして行きたいと考えております。

連携先医療機関とともに、地域の患者さまにとって身近で便利、そして信頼できる“かかりつけ医”を目指しています。また、隣接地にサービス付き高齢者住宅を有し、要介護者だけではなく、要介護者以外の支援も行い、独居の高齢者にも安心な住まいを提供できるよう心掛けています。

ナース
nurse

医療 TOPICS

看護師のお仕事



ちょっと気になる？ 看護師がどんなお仕事をしているかインタビュー♪
今回は **画像治療検査部門 千々和 ゆうき** さんです。

1.主にどんな診療科に対応されていますか？

画像治療検査部門では血管造影室、内視鏡室、CT室、MRI室、X線透視室、放射線治療室などで、画像を用いて低侵襲に行う検査や治療の介助を行っています。その中でも私は主に血管造影室で勤務しています。血管造影室ではカテーテルと言われる細い管を使って、循環器疾患（狭心症・心筋梗塞・不整脈など）や放射線科領域の疾患（出血、腫瘍、膿瘍、脊椎圧迫骨折など）の検査や治療を行っています。



2.主な仕事を教えてください。

私が主に勤務しているのは血管造影室ですが、検査の内容や件数によっては別の検査室で勤務することもあります。様々な診療科を担当し、検査・治療の内容もたくさんありますが、患者さまが安心・安全に検査を行えるよう環境を整え、検査・治療中の患者さまの状態に変化がないか観察し、患者さまの不安に寄り添い、痛みを和らげるための処置をし、合併症の早期発見に努め異常時にはすぐに対応する、という私たちの役割はどの検査室であっても同じです。

3.お仕事とプライベートはどのように両立されていますか？

コロナ禍以前は友人や同僚と食事をして気分転換をしていました。現在は大勢での外出が難しいので、休みの日には子どもたちとたくさん遊ぶようにしています。疲れが溜まってしまい思うように遊んであげられないこともあります。子どもたちの笑顔にはたくさんパワーをもらっています。

4.仕事を通してうれしかったことや、やりがいを教えてください。

検査中だけの短い時間しか患者さまと関わることの出来ない私たちですが、短い関わりの中でも患者さまの不安や苦痛を取り除くためのお手伝いを最大限に行っています。検査中に「看護師さん…」と私たちに頼ってくれるときにはやりがいを感じます。また、心筋梗塞や重度の消化管出血で救急搬送され、全身状態が悪く緊急で治療を行った患者さまが元気になった姿を院内で見かけたときや無事に退院したという話を聞くと、とても嬉しく思います。



5.最後に読者・患者さまへ一言お願いします。

病気は人や時を選ばず発症します。特に心臓疾患や消化管出血は命に関わることもあります。私たちは医師や他職種と連携し、年中無休24時間体制でどのような時でもより良い医療を提供できるチーム作りに努めています。お身体のことで心配なことがあればいつでも当院にご相談ください。



—— 頼れる職場のパートナー ——



～医療通訳の一場面から… 通訳者の記憶に残る患者さま～

Case.03

日本と中国の公的医療保険制度 ～国によって異なる制度や仕組み～

正確に数えていませんが、私は医療通訳として当院で中華圏の患者さま100人以上に対応してきたでしょう。主に、中国本土、香港、台湾、インドネシア、シンガポールからの方々です。多くの患者さま一人ひとりが細かく印象に残っているとは言いませんが、患者さまに「お大事になさってくださいね」と言った瞬間、それぞれの症状、国籍、名前、顔などの情報が一緒に「記憶」という世界一大きな空間にバッと入り、「時間」という整理士がそれらの情報を棚に収納していく。医療通訳として、この記憶の倉庫に情報を蓄積しながら、いつも感じることは「日本の公的医療保険がいいなあ」という気持ちです。なぜかという、日本の医療保険制度三大特徴のうちの一つ、「国民皆保険制度」と、高額療養費制度や難病医療費助成制度などの医療保険の補償が充実しているからです。

今回は、日本と中国の医療保険の違いについてご紹介したいと思います。



「中国の医療保険制度」

そのことを実感する事例が、私の記憶の棚に残っている1人の患者さまです。その方(Aさんとします)は、血液の病気で日本での最後の受診を終えたあとの絶望的な目つきが印象的でした。治療費がかなり高額になる疾病で受診されましたが、Aさんはその病気のため日本で仕事ができなくなり、日本滞在ビザも失効し、帰国しなければならなくなりました。現在は、母国で高額な治療費に困っているようです。

患者さまと同じ外国人としての立場から見ると、日本の公的医療保険制度には感心します。現在、中国でもほとんどの国民が公的医療保険に入っていますが、日本よりも自己負担が大きく、保険の適用範囲が複雑で、居住地以外での受診には異なる負担割合が適用されるようです。

例えば、私の故郷である四川省巴中(ハチュウ)市では、外来診療に保険が使えません。パーキンソン病と糖尿病を患っている義父は、保険を使うため、わざわざ年に3、4回ほど入院しています。保険によって

一度窓口で全額支払った入院医療費の6割が戻るようです。毎日服用している処方薬は、近所の薬局で全額自費で買っています。しかし、もし義父が居住地以外の病院に入院した場合は、医療費の4割しか戻らないようです。

また、中国では、日本の健康保険のように高額療養費制度や、難病患者への医療費助成制度、健診費用助成制度などは充実していません。病気によって医療費が大きな負担となり、生活が困窮してしまうこともよくあるようです。もし、母国にいる私の家族が日本のような充実した医療保険に入ることが可能であれば、保険料がいくらでも入らせたいです。中国でも国民皆保険、かつ充実した医療保険が実現される日が一日でも早く来るよう期待しています。

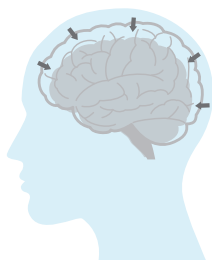
中国語担当 何 青(ホー・チン)



物忘れ外来のご紹介



認知症 は決して珍しい疾患ではありません。皆さまの身近な身内の方にも認知症の患者さまが居られるかもしれません。認知症には、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症があります。



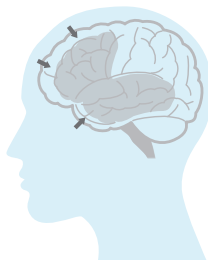
アルツハイマー型



脳血管性型



レビー小体型



前頭側頭型

主な認知症の原因

大脳が頭部外傷を含む色々な原因で侵襲されますと、大なり小なり認知機能障害を来す結果となります。認知症と診断された患者さまの中には、認知機能障害が治る可能性のある疾患、例えば慢性硬膜下血腫、常圧性水頭症、高齢者てんかんなどが含まれている場合があります。従って、認知症に関しては特に、出来るだけ早期に正確な診断が必要です。

診断にはリハビリテーションセンターの作業療法士が関わり、HDS-RやMMSE-Jなどの認知機能テストを行います。症例によって、CT、MRI、MIBG心筋シンチグラフィの検査を使い分けます。いずれの検査も当院で可能です。

治療には出来るだけ症状を軽くして、進行速度を遅らせるために薬を用いたり、生活指導、リハビリテーションなどを行います。認知症になれば、患者さまご本人とご家族の方々にとって精神的、経済的、身体的負担が大きくなります。これらの負担も和らげ、出来るだけ生き甲斐、幸福感を持って生活を続けるべきです。これには、介護保険の認定を受けて、これを上手に利用する手立てがあります。

物忘れ外来では、医療ソーシャルワーカーとも協力をして可及的早期に介護認定を受け、利用にあたっての相談も行っております。お気軽にご相談に来てください。お待ちしております。

物忘れ外来 担当医・診療時間のご紹介



脳神経外科医師

元持 雅男

(もともち まさお)

日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医

物忘れ外来受付・診療時間		受付時間	診療開始時間		
		13:00~15:30	13:30		
月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	土 曜
			●		



「生活不活発病」を知っていますか？

「動かない」（生活が不活発な）状態が続くことにより、心身の機能が低下して、「動けなくなる」ことをいいます。感染症の流行により、自粛生活が続く中で生活不活発の状態となっていないでしょうか？特に、高齢の方や持病のある方は生活不活発病を起こしやすい、早期に対応することが大切です。

予防の
ポイント

Point.1

毎日の生活の中で
活発に動くように
しましょう！

Point.2

家庭・地域・社会で
楽しみや役割を
もちましょう！
散歩やスポーツ
趣味など

Point.3

歩きにくくなって
すぐに車いすを
使うのではなく
杖や伝い歩きなどの
工夫をしましょう！

Point.4

身の回りのことや
家事などが
やりにくくなったら
「仕方ない」と
思わずに早めに
相談をしましょう！

練習や工夫で
上手になることも
あります！

Point.5

「無理は禁物」
「安静第一」と
思いこまないように
しましょう！

疲れ易い時は
休憩を挟みながら活動し
病気の時はどの程度
動いてよいかわかり
相談をしましょう。

ご家族や周囲の方も一緒に工夫をお願いします！

参考：厚生労働省「生活不活発病」に注意しましょう

毎日合計40分の活動を！！

「強度を問わず、どんな動きでもよいので、身体活動を毎日40分行う」
家事をすることは運動をすることと同等の運動量になります！



運動強度（メッツ）

①

②

③

④

⑤

自粛生活でも
「できること」



座位での体操



料理・茶碗洗い



掃除機

浴室の掃除



運動
スポーツ

ストレッチ



ラジオ体操



植物への水やり



軽めのウォーキング

卓球

洗濯物を干す



※メッツとは運動強度の単位で、安静時を1とした時と比較して何倍のエネルギーを消費するかで活動の強度を示したものです。

参考：厚生労働省 健康づくりのための身体活動基準 2013 / 65歳以上の身体活動の基準

生活を見直して、心身ともに健康を維持していきましょう！

作業療法士 木戸口 果歩



きのこの和風キーマカレー



★材料 (2人分)

- ・豚ひき肉 150g
- ・玉ねぎ 50g - 小1/4個
- ・まいたけ 50g - 1/3株程度
- ・しめじ 50g - 1/3株程度
- ・エリンギ 50g - 小1本程度
- ・油 小さじ2
- ・すりおろしにんにく 小さじ2
- ・かつおだし 200cc
- ・カレールー(好みのもの) 人数分
- ・醤油 大さじ1
- ・みりん 大さじ1
- ・かつおぶし 適量
- ・ごはん 300g



※写真はイメージです。

★作りかた

- 1 きのこと玉ねぎを粗みじん切りにする。
- 2 深めのフライパンにサラダ油を入れ、玉ねぎを炒める。
- 3 玉ねぎが透き通るほどに火が通ったら、ひき肉、きのこを入れ更に炒める。
- 4 ひき肉に火が通ったらかつおだしを入れ一煮立ちさせ、カレールーを入れる。
- 5 ルーが溶けたら煮立たせ水分を飛ばし、醤油とみりんで味を調える。
- 6 ごはんにかレーを盛り、かつおぶしをのせ完成。
ブロッコリーを添えたり、焼きナスをのせるのもおすすめです。

きのこの豆知識

食物繊維で体質改善!!



きのこには食物繊維が多く含まれています。食物繊維には、便をやわらかくし排便を促してくれる効果や、血糖値の急上昇の抑制やLDLコレステロールの吸収を抑制するなど嬉しい効果が盛りだくさん。

また、きのこにはグアニル酸といった成分も豊富です。この成分はうま味を感じる成分で、数種類のきのこを組み合わせると更にうま味を強く感じる効果もあります。

秋の味覚のきのこをぜひ食卓に取り入れてみましょう。

管理栄養士 池田 紗里衣

当院の専門外来

【予約制】弁膜症外来

【毎週月曜日】	受付/14:00~16:00	診察/14:00~	担当医/棒田 浩基
【毎週火曜日】	受付/13:00~15:00	診察/13:00~	担当医/山崎 和正

肝臓外来

【毎週火曜日】	受付/13:00~15:00	診察/13:00~	担当医/井上 充貴
【毎週金曜日】※	受付/13:00~15:30	診察/13:00~	担当医/吉川 大太郎

※金曜日は予約制

【予約制】禁煙外来

【隔週火曜日】	受付/14:00~16:00	診察/14:30~	担当医/山崎 誠治
---------	----------------	-----------	-----------

物忘れ外来

【毎週木曜日】	受付/13:00~15:30	診察/13:30~	担当医/元持 雅男
---------	----------------	-----------	-----------

【予約制】不整脈外来

【毎週月曜日】	受付/07:00~11:30	診察/09:00~	担当医/谷 友之
【毎月第1.3.5水曜日】	受付/07:00~11:30	診察/09:00~	担当医/谷 友之

【予約制】いびき・無呼吸外来

【毎週月・金曜日】	受付/13:30~15:00	診察/14:00~	担当医/後平 泰信
【毎週土曜日】	受付/07:00~11:30	診察/09:00~	担当医/後平 泰信

鼠径ヘルニア外来

【毎週水曜日】	受付/07:00~11:30	診察/09:00~	担当医/深堀 晋
---------	----------------	-----------	----------

【予約制】補聴器外来

【毎週火曜日】	受付/13:00~15:30	診察/13:30~	担当医/外来担当医
---------	----------------	-----------	-----------

外来診療表

内科		月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	※ 予約患者のみ	※	※	※	※	※	
循環器内科							
受付/07:00~11:30 診療/09:00~		●	●	●	●	●	●
受付/16:00~19:00 診療/17:00~		●	●	●	●	●	
消化器内科							
受付/07:00~11:30 診療/09:00~		●	●		●	●	●
受付/16:00~19:00 診療/17:00~				※			
※ 予約患者のみ							
炎症性腸疾患センター(IBDセンター)							
受付/07:00~11:30 診療/09:00~		●	●	●	●	●	●
受付/12:00~15:00 診療/13:00~		●	●	●	●	●	
受付/16:00~19:00 診療/17:00~			●				
呼吸器内科							
受付/07:00~11:30 診療/09:00~		▲	▲	▲	▲	※	※
受付/16:00~19:00 診療/17:00~						※	
▲ 肺がん・肺腫瘍専門 ※ 予約患者のみ							
小児科							
受付/07:00~11:30 診療/09:00~		●	●	●	●	●	●
受付/16:00~19:00 診療/17:00~		●		●		●	
外科							
受付/07:00~11:30 診療/09:00~		●		●		●	
受付/13:00~16:00 診療/14:00~			※				
※ 予約患者のみ							
乳腺外科							
受付/07:00~11:30 診療/09:00~				●	●	●	
受付/13:00~15:30 診療/13:00~			●				
形成外科							
受付/07:00~11:30 診療/09:00~		●					
受付/13:00~15:00 診療/13:30~				▲			
受付/16:00~18:00 診療/17:00~				▲			
▲ 第2・第4のみ							
麻酔科							
受付/07:00~11:30 診療/09:00~			●			●	

※都合により診療時間・担当医の変更や休診となる場合がございます。ご了承ください。
 ※健康診断・人間ドックにつきましては、「完全予約制」をとっております。お電話にてお問い合わせください。

脳神経外科		月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:00 診療/09:00~		●	●	●	●	●	●
受付/13:00~15:30 診療/13:30~	▲ 物忘れ外来のみ	●			▲		
泌尿器科							
受付/07:00~11:30 診療/09:00~					●		
眼科							
受付/07:00~11:00 診療/09:00~		●	●	●	●	●	
受付/13:00~16:00 診療/13:30~			※			※	
受付/16:00~19:00 診療/17:00~			▲				
▲ 第2・第4のみ ※ 予約患者のみ							
耳鼻咽喉科・頭頸部外科							
受付/07:00~11:30 診療/09:00~		●	●	●	●	●	●
受付/13:00~15:30 診療/13:30~		●	※	●	●	●	
※ 予約患者のみ							
整形外科							
受付/07:00~11:00 診療/09:00~		●	●	●	●	●	
心血管外科							
受付/07:00~11:30 診療/09:30~					●		●
皮膚科							
受付/16:00~19:00 診療/17:00~			●		●		
放射線診断科							
受付/07:00~11:30 診療/09:00~				●			
放射線治療科							
受付/13:00~16:00 診療/13:30~				※			
※ 予約患者のみ							
整形外科外傷センター							
受付/07:00~11:30 診療/09:00~		※	※	※	※	※	
※ 予約患者のみ							
歯科口腔外科							
受付/08:30~11:30 診療/09:00~		●		●	※		※
受付/13:00~16:30 診療/13:00~		●		●	※		
※ 新患受付は午前 11:00 / 午後 16:00 まで。 ※ 予約患者のみ							

急病の方はいつでも受け付けております。



医療法人徳洲会
札幌東徳洲会病院

〒065-0033
 札幌市東区北33条東14丁目3-1
 Tel.011-722-1110 (代表)

ACCESS

- 地下鉄** 東豊線 新道東駅 5番出口より 徒歩約5分
- 地下鉄 + 中央バス** 南北線 北34条駅にて
 ▶中央バス東76・東78で乗車
 ▶北34条東12丁目駅で下車 徒歩約1分
- 自家用車 (高速道路)** ▶伏古インター / 札幌北インター 約5分
 駐車場180台収容可能 (一部有料)
- LINE** **LINE友だち募集!**
 札幌東徳洲会病院の最新情報を配信中!



友だち登録は >>>
 右のQRコードから♪

国際医療施設認証 (JCI)



JCIとは、患者さまの安全性の担保、高品質な医療の提供、院内に継続した改善活動が行われる仕組みを有するかを評価する認証機関です。世界中で最も厳しい基準をもつ医療施設評価機構とされており、3年毎に行われる審査はその都度内容が厳しくなります。当院は、自分達の視点だけで病院運営を評価するだけではなく、世界で最も厳しい基準を持つ認証機構の評価を受ける事により、患者さまやご家族の方々へ、安心、安全で質の高い最善の医療が提供できることを今後も目指してまいります。

※ JCI ホームページ : ja.jointcommissioninternational.org

日本医療機能評価



当院では、患者さまへ安全かつ高度な医療を提供するため、継続的に改善する取り組みの一環としてこの「病院機能評価」の認証を利用しています。病院機能評価とは日本の病院を対象に、組織全体運営管理および提供される医療について、日本医療機能評価機構が中立的、科学・専門的な見地から評価を行うツールで、患者中心の医療の推進、良質な医療の実践、理念達成に向けた組織運営から構成される評価項目を用いて評価され、一定の水準を満たした病院は認定病院となります。

※ 日本病院機能評価機構ホームページ : jcghc.or.jp